

品番

**PIP-22E6
PIP-30E6**



愛情点検 長年ご使用の電気ポットの点検を！

 こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードやプラグが異常に熱くなる。 ●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●いつもと違って異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。 ●本体から水もれする。 ●その他の異常や故障がある。 	使用を中止し、 故障や事故防止のため 必ず販売店に点検を ご相談ください。
------------------	--	--

点検、修理などを 依頼されるときなどに 記入しておくと便利です。	ご購入年月日	ご購入店名 TEL () 年 月 日
--	--------	----------------------------

タイガー蒸気レスVE電気まほうびん保証書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間内に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証書の記載内容に基づき無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

★ 型名	PIP-22E6, PIP-30E6	
★ お名前	お名前	
★ ご住所	〒 客様	
★ 電話番号		
★ お買い上げ日	年 月 日	
保証期間(お買い上げ日より)		
本体 1年 (消耗品) (は除く)		
★取扱販売店名・住所・電話番号		

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店又は「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間にについて、詳しくは「保証とサービスについて」をご覧ください。

**お客様の
個人情報の利用目的**

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

家庭用

**蒸気レス
VE電気まほうびん**

とく子さん

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



ご意見をお寄せください。

<https://www.tiger.jp/>

この製品は日本国内交流100V専用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。

This product uses only 100 V (volts), which is specifically designed for use in Japan. It cannot be used in other countries with different voltage, power frequency requirements, or receive after-sales service abroad.

本产品仅限于日本国内的 100V 交流电压下使用。不可在日本之外的国家的不同电压和电源频率下使用。在海外也不提供售后服务。

蒸気が外に出ない！蒸気レスとく子さん 上手に使って、省エネ生活をはじめましょう



蒸気が外に出ない蒸気レス

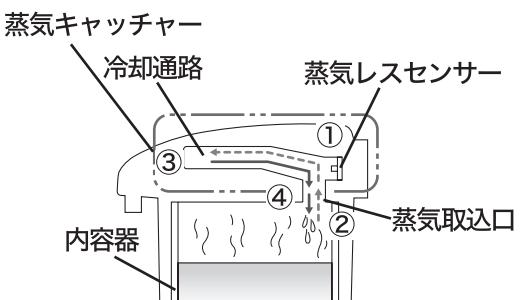
この製品は、蒸気を本体の外に出さない構造のため、蒸気孔がありません。

- 蒸気が外に出ないため、うっかり蒸気孔から出る高温の蒸気にふれて、やけどをするおそれがあります。
- 蒸気による結露の心配がないため、置き場所がより自由に選べます。

蒸気キャッチャー構造のしくみ

- ①沸とう時に出た蒸気を、搭載された蒸気レスセンサーが、すばやく感知し、最小限の蒸気量に抑えます。このため、無駄な量の蒸気を発生させません。
- ②沸とう時に出た蒸気は、蒸気取込口からふた内部の蒸気キャッチャーに入ります。
- ③蒸気が蒸気キャッチャー内の冷却通路を通って、冷やされます。
- ④冷やされた蒸気は結露し、水滴になり、もとの冷却通路から内容器に戻ります。

蒸気は本体の外に出ません。
蒸気レスを行うための操作や蒸気キャッチャー内のお手入れの必要がない構造です。



うれしい省エネ効果

低めの保温温度やまほうびん保温を選ぶ → P.12

- 低めの保温温度を選ぶと、高めの保温温度に設定しているときよりも、電気代が節約できます。
- まほうびん保温を選ぶと、沸とう後ヒーターが自動的にOFFになります。まほうびん構造によって保温しますので、電気代が節約できます。

省エネコースで省エネ湯わかしや省エネ保温→ P.16

- 省エネコースを選んでお湯をわかすと、沸とうする前にヒーターを切り、保温します。
- 省エネ保温は、しばらくポットを使わないと、自動的に保温設定温度より約5度低い温度で保温しますので、電気代が節約できます。

寝る前や外出前に節電タイマーをセットする → P.18

- 6時間から10時間まで1時間きざみで5段階にセットできます。
- セットすると自動的にヒーターがOFFになります。まほうびんで保温しますので電気代が節約できます。

もくじ

安全上のご注意	4
各部のなまえ	8
はじめて使うとき・ しばらく使わなかったとき	9
お湯をわかす、保温を選ぶ、 再沸とうさせる	10
給湯レバーを押してお湯を注ぐ (電動給湯)	14
省エネコースにセットして、 省エネ湯わかし、省エネ保温する	16
寝る前や外出前に 節電タイマーをセットする	18
使わないときはお湯を止てる	20
お手入れする	22
●こまめにお手入れする箇所・部品	22
●汚れるたびにお手入れする箇所	22
●内容器のクエン酸洗浄をする	23
●ポンプのクエン酸洗浄をする	24
●長期間使わないとき	24
故障かな?と思ったら	25
●お湯をわかすとき	25
●おいがするとき	26
●給湯するとき	26
●本体の不具合	27
●保温中	27
●ランプや表示、キー操作、音の不具合	27
仕様	29
消耗品・別売品のお買い求めについて	29
ふたパッキンの交換のしかた	30
保証とサービスについて	31
連絡先	31

安全上のご注意

必ずお守りください

◆ お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の区分で説明しています。



死亡や重傷を負うことが想定される内容です。



傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される内容です。

図記号の説明

してはいけない「禁止」内容です。

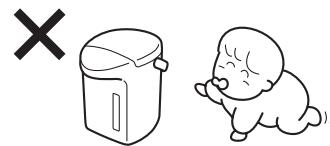
実行しなければならない「指示」内容です。

※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

乳幼児には特に注意



- 禁止 子どもだけで使わせたり、乳幼児の手が届くところで使わない。
- 禁止 接触禁止 器具用プラグをなめさせない。
やけど・感電・けがのおそれ。



改造はしない



- 分解したり、修理をしない。
感電・けがのおそれ。
火災の原因。
修理は、販売店または、「連絡先→P.31」に記載のタイガーお客様ご相談窓口にご連絡ください。

水のみをわかす



- 禁止 水以外のものをわかさない。
お茶・牛乳・酒・ティーバッグ・お茶の葉・インスタント食品・備長炭・冷たい水などを入れない。
やけど・感電のおそれ。
こげつき・腐食・故障の原因。

- 禁止 氷を入れて保冷用に使わない。
冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれ。

異常・故障時は



- 必ず実施 すぐにプラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。
そのまま使用すると、感電・けがのおそれ。
火災の原因。
(異常・故障例)
 - 電源コードやプラグが異常に熱くなる。
 - 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
 - いつもと違って異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
 - 本体から水もれする。
 - その他の異常や故障がある。

使用する場所に注意



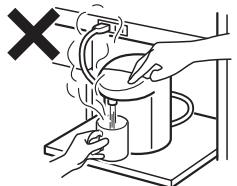
次のような場所では使わない。



- 不安定な場所
- 火気の近く
- 水のかかりやすい場所
- 底部がぬれるようなところ
- 差込プラグに蒸気があたるところ
- 直射日光が長時間あたる場所
- 壁や家具の近く
- 熱に弱いテーブルや敷物などの上倒れたときに、お湯が流れ出て、やけど・感電のおそれ。
- やけど・感電のおそれ。
火災・ショート・発火の原因。
- 故障・変色や跡形がつく原因。



必ず実施 キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。



使用中・使用後は



- 水ぬれ禁止 水につけたり、水をかけたりしない。
 - 丸洗いしない。
 - 蛇口から直接水を入れない。
 - 底面をぬらさない。本体内部に水が入り、感電のおそれ。
ショート・感電・発火の原因。



- 禁止 本体をさかさにして置かない。
故障の原因。



湯わかし中や直後は、

- お湯を注がない。
 - 移動させない。
 - ふたを開閉しない。
- お湯が飛び散ったり、流れ出したりして、やけどのおそれ。



必ず実施 給湯中に本体を回さない。

お湯が飛び散り、やけどのおそれ。



必ず実施 使用中や使用後しばらくは、高温部にふれない。

やけどのおそれ。



必ず実施 凍結するおそれのある場所に、通電を切った状態で長時間放置する場合、必ず内容器の水を完全にすべておく。

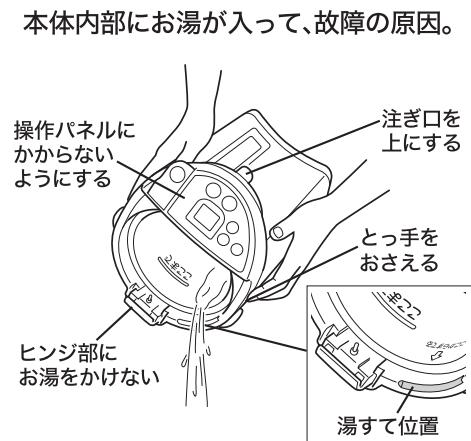
凍結による故障の原因。



必ず実施 お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれ、やけどのおそれ。



必ず実施 残り湯をするときは、必ず下図の方向からする。
→P.20・21
別の位置からすると、やけどのおそれ。



安全上のご注意 つづき 必ずお守りください

各部についての注意事項

ふた

⚠ 警告

必ず実施
ふたを「カチッ」と音がするまで確実に閉める。

沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

禁止
ふたを勢いよく閉めない。沸とう後、しばらくは開閉しない。

蒸気でやけどのおそれ。

禁止
ふたをつけたまま、残り湯をすてない。

ふたがはずれたとき、お湯がかかつてやけどをするおそれ。(残り湯のすてかた→ P.20・21)



ふたパッキンが白く変色したら交換する。→ P.29・30

必ず実施
倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

⚠ 注意



ふたを開けたり、はずすときに
出る蒸気や露にふれない。

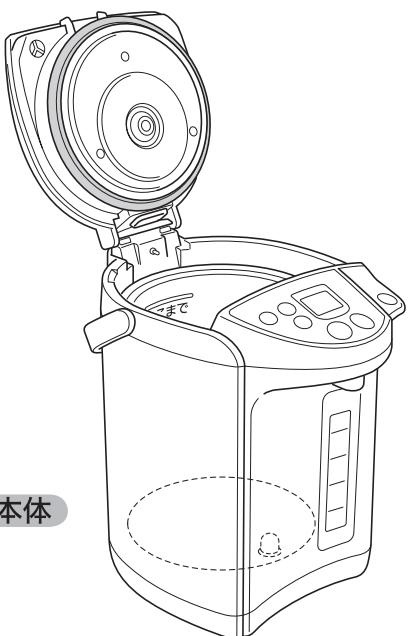
やけどのおそれ。



本体を持ち運ぶときは、ふたの
開閉レバーにふれない。

ふたがはずれて、けが・やけどのおそれ。

ふた



本体

⚠ 警告

禁止
本体に衝撃を加えない。

- 落としたり、ぶつけたりしない。
- 転倒させない。
- 上下に勢いよく振らない。
- 傾けない。ゆすらない。
- 抱きかかえない。
- ふたを持って移動しない。

「ロック」についていても、傾けたり倒したりしない。

お湯が流れ出て、やけど・けがのおそれ。故障の原因。

過度な衝撃が加わった場合は、使用をやめて販売店へ点検・修理を依頼する。



通気孔の中に異物を入れない。

お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。



満水目盛を超えて、水を入れない。

お湯がふきこぼれて、やけどのおそれ。

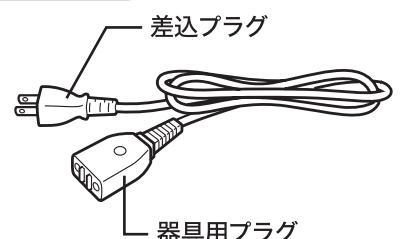
⚠ 注意



カラだきをしない。

水を入れないで通電すると、内容器の熱変色・故障の原因。

電源コード



電源コード・差込プラグ・器具用プラグ

⚠ 警告



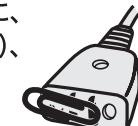
次のような使いかたをしない。



- 交流100V以外での使用。
(日本国内100V専用)
- タコ足配線での使用。
(定格15A以上のコンセントを単独で使う)
- 電源コードが破損したままや傷つくような使用。
(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど)
- 差込プラグにほこりが付着したり、傷んだままでの使用。
- ぬれた手での差込プラグの抜き差し。
- 器具用プラグ(磁石式)の先端に、
ピン・針金など金属物(異物)、
ごみを付着したまでの使用。

感電・けがのおそれ。

火災・ショート・発煙・発火の原因。



破損した場合は、販売店または、「連絡先→ P.31」に記載のタイガーお客様ご相談窓口でお買い求めください。



差込プラグは根元まで確実に差し込む。

感電・ショート・発煙・発火のおそれ。



電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差しみがゆるいときは使わない。

感電・ショート・発火の原因。

⚠ 注意



- 使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
- 必ず差込プラグを持って引き抜く。

けが・やけどのおそれ。

感電・ショート・発火・漏電火災の原因。

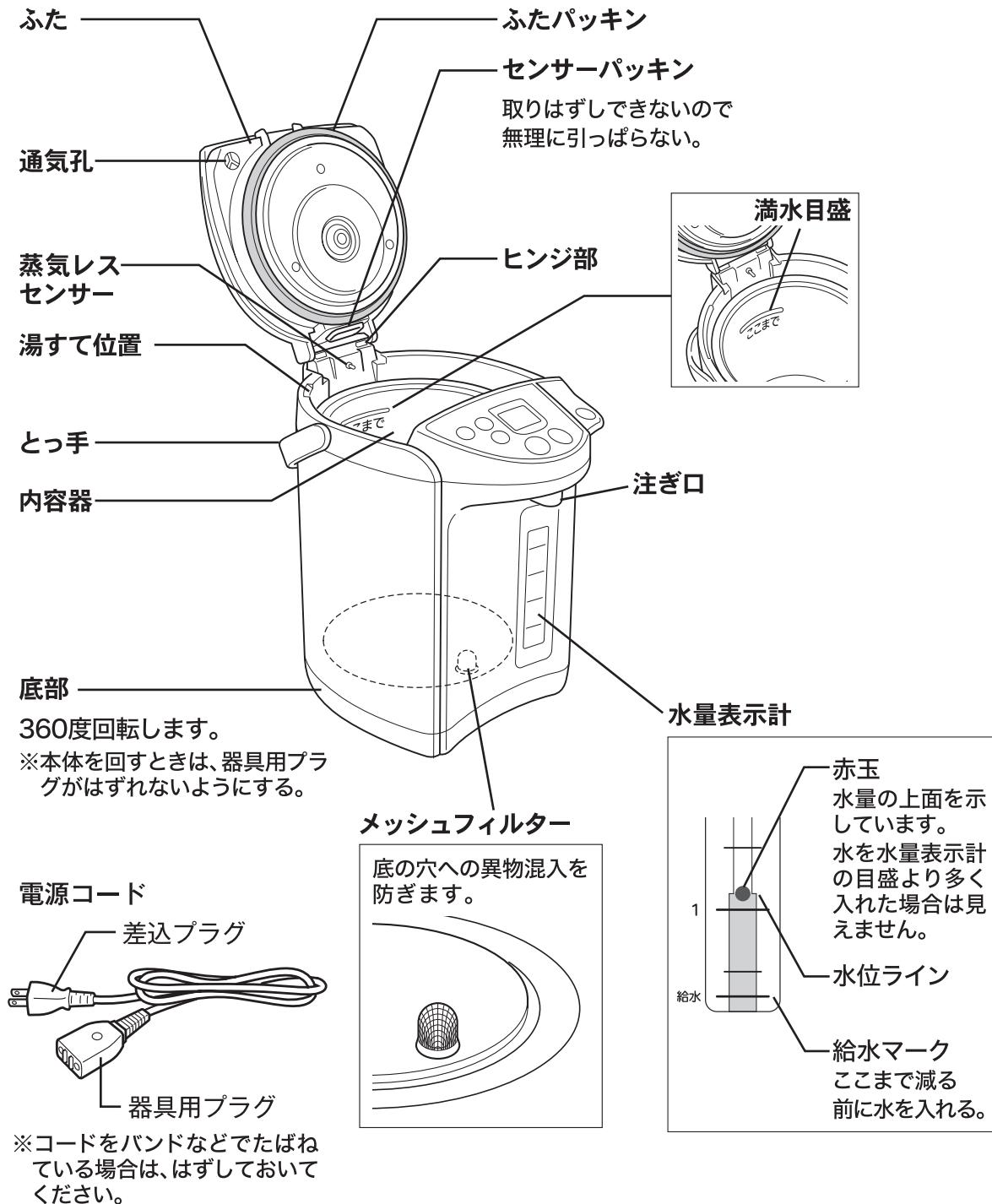


- この製品専用の電源コード以外は使わない。
- 電源コードを他の機器に転用しない。

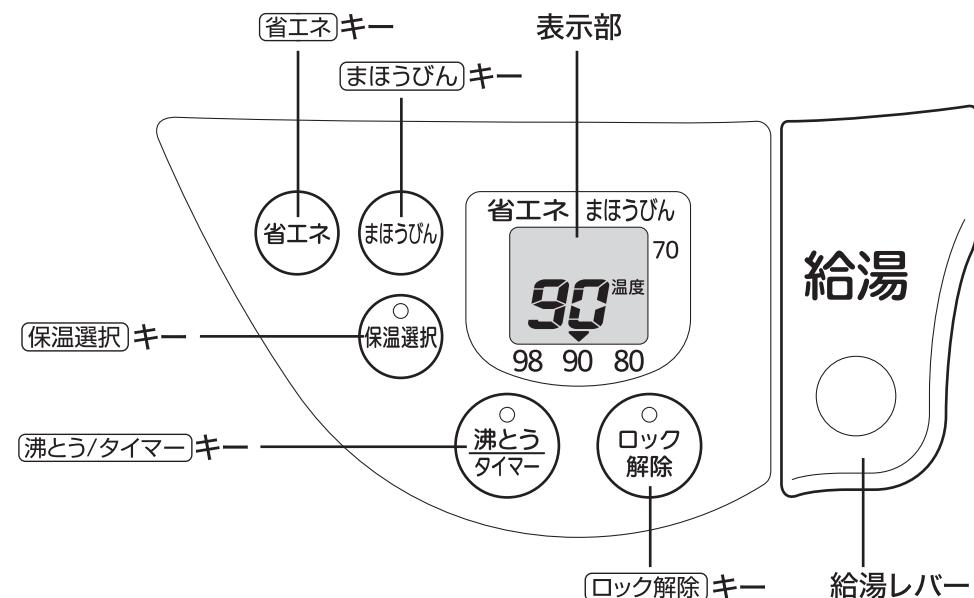
故障・発火の原因。

各部のなまえ

箱を開けたら、まず確認しましょう！



操作パネル



はじめて使うとき・しばらく使わなかったとき

本体内を洗浄するために、次の手順で、お湯をわかしてでする。
使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがありますが、ご使用とともに少なくなります。

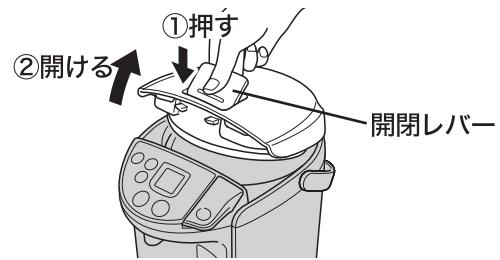
- 1 **満水目盛まで水を入れ、お湯をわかす。** → P.10・11
- 2 **お湯がわいたら、約半量を電動給湯してお湯をする。** → P.14・15
- 3 **プラグ・ふたをはずして、残り湯をする。** → P.20・21

お湯をわかす、再沸とうさせると 保温を選ぶ、再沸とうさせること



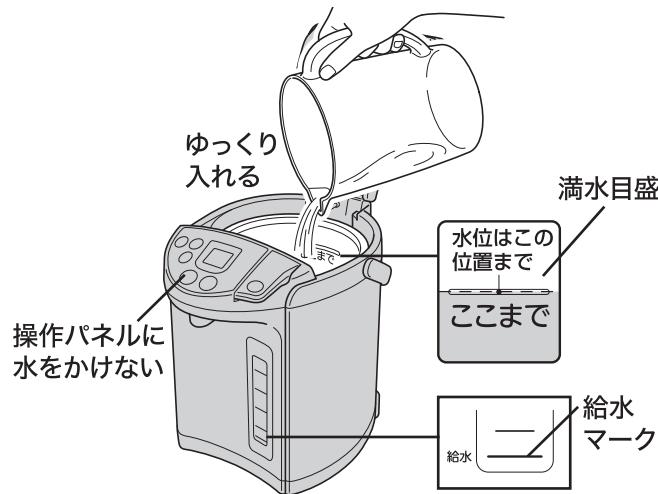
コーヒーや紅茶、煎茶など、お茶の種類に合わせて保温が選べて便利。

1 ふたを開ける。

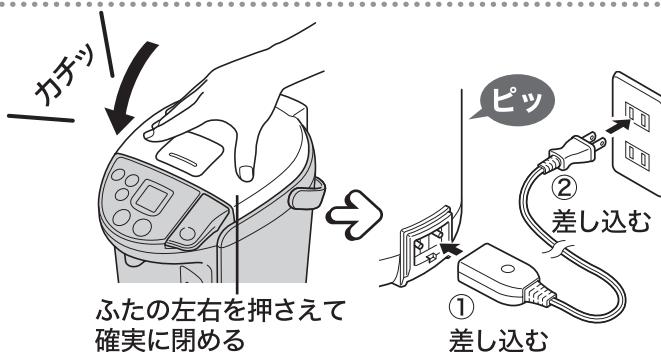


2 水を別の容器で入れる。

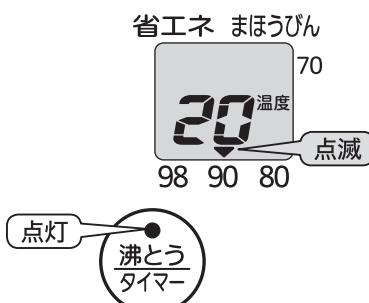
◆「満水目盛」以下、「給水マーク」以上に入れる。



3 ふたを閉め、プラグを確実に接続する。



湯わかしがはじまる。



水を入れて湯わかしする

約50度以上のお湯を入れると、自動的に湯わかしされない場合があります。
少し冷めたお湯か水を入れるか、再沸とうさせる。→P.12・13

カラだき防止機能のはたらき

水が入っていないかったり、少量の水でわかしたり、勢いよく水を入れると、「ビピピ…」と音がして、沸とうランプと保温ランプが交互に点滅してお知らせし、湯わかしが止まります。→P.28

湯わかし中の表示

◆水量や水温によって、残時間が表示されはじめる時間が異なります。
◆お湯の温度は、5度きざみに表示されます。
(約98度のときのみ「98」を表示)

現在の湯温

省エネ まほうびん



約10秒ごとに
交互に表示

沸とうするまでの
残時間

省エネ まほうびん



蒸気キャッチャー構造

沸とう時、および再沸とう時は、蒸気キャッチャー構造により、蒸気が本体の外に出ません。→P.2

ご注意

- ◆水を蛇口から直接入れたり、ぬれた場所に置いて底面をぬらさない。
- ◆「満水目盛」を超えて水を入れたり、「給水マーク」より少ない水で湯わかししない。
- ◆湯わかし中や直後は、ふたを勢いよく開閉したり、給湯しない。
お湯が飛び散ったり、蒸気がふき出して、やけどのおそれ。

保温をわかつ、再沸とうさせる



4

または を押して、
保温を選ぶ。

【98・90・80・70保温のとき】
〔保温選択〕を押すごとに、保温が順に切り替わります。

90→80→70→98

【まほうびん保温のとき】

〔まほうびん〕を押す。
もう一度押すと、保温選択温度に替わります。

沸とうしたら、
「ピー」と5回鳴る。

自動的に保温。

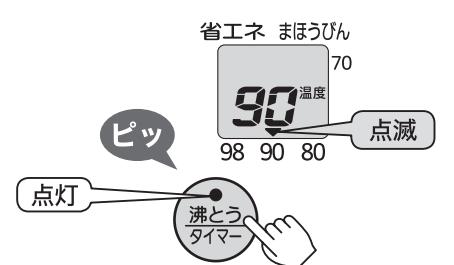
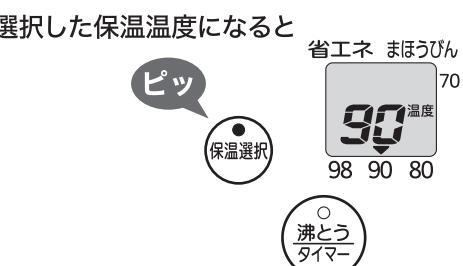
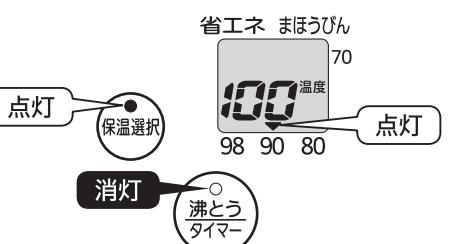
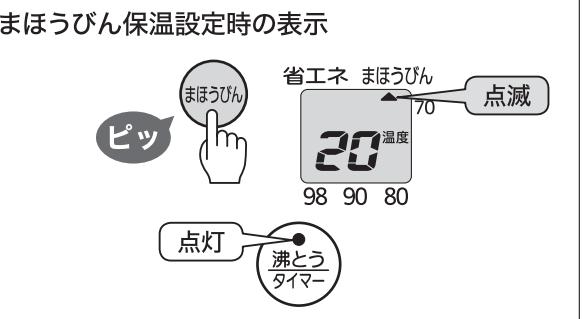
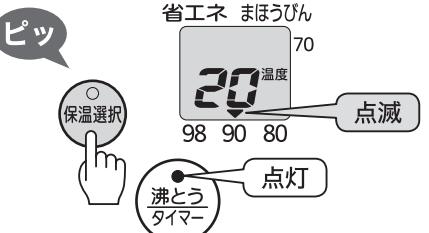
【保温中に保温を切り替えるとき】
〔保温選択〕または〔まほうびん〕を押して選ぶ。

5
保温中に再沸とうさせるとときは、
を1回押す。

給水マーク以上のお湯が入っているか、確認してから押す。

〔沸とう/タイマー〕を押すごとに、機能が切り替わります。
表示部で確認しながら合わせる。

6時間
再沸とう
タイマー
→
7時間
保温
タイマー
→
8時間
10時間
タイマー
→
9時間
タイマー



保温は5種類から選べる

- ◆5種類の保温が選べます。(98・90・80・70保温の4とおりとまほうびん保温)
- ◆まほうびん保温は、沸とう後、ヒーターが自動的にOFFになります。
- ◆湯わかし中でも保温中でも、保温が変更できます。

使用中にプラグがはずされたとき

再度プラグを接続すると90保温になります。

まほうびん保温を選んだとき

水を入れても自動的に湯わかしません。
(〔沸とう/タイマー〕を押して沸とうさせる)

→P12・13

沸とう時間・選んだ保温温度になるまでの時間の目安

	2.2タイプ	3.0タイプ
水から沸とうするまで	約25分	約31分
90保温に沸とうするまで	約2時間25分	約2時間35分
80保温に沸とうするまで	約4時間35分	約5時間30分
70保温に沸とうするまで	約8時間5分	約9時間30分

※水量:満水、水温・室温:23度のときの参考値。

※98保温になるまでの時間の目安は、水から沸とうするまでの時間とほぼ同じです。

沸とう後の湯温の目安(まほうびん保温時)

時間の経過とともに、湯温が下がっていきます。湯量が少ないと、冷めやすくなります。

	2.2タイプ	3.0タイプ
2時間後	約88度	約90度

※水量:満水、室温:23度のときの参考値。

※温度は5度きざみで表示されるので、表示と実際の湯温は異なることがあります。

満水時に再沸とうするまでの時間の目安

	2.2タイプ	3.0タイプ
98・90保温	約4~8分	約4~9分
80・70保温	約8~12分	約9~14分

※水をつぎたしたり、プラグを接続し直したときは、さらに長くなります。

※まほうびん保温のときは、沸とうするまでの時間が変わります。

お湯を注ぐ 給湯レバーを押して

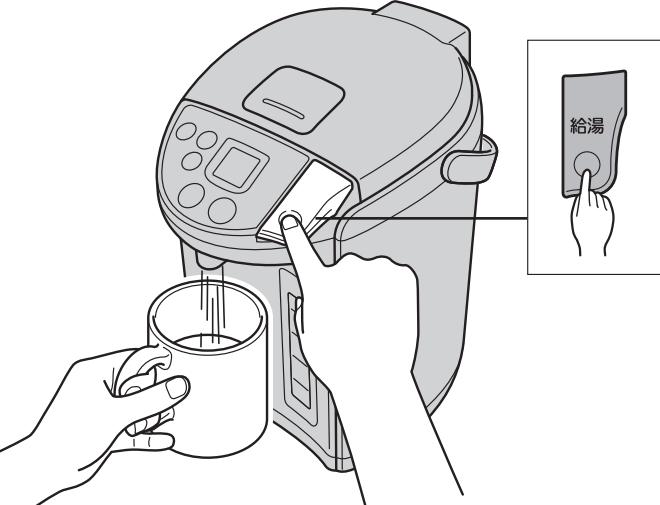
— 電動給湯 —



指一本でらくらく給湯！

まろやかなお湯で、お茶やコーヒーの味と香りが楽しめめるのね。

- 1**  **を1回押す。**
ロックが解除されます。

- 2** 容器を注ぎ口に合わせ、
給湯レバーを押して注ぐ。
 - ◆押している間、お湯が出ます。
 - ◆給湯レバーから指をはなし、注ぎ口からお湯が止まるのを確認してから容器をはなす。
- 3**  **を1回押す。**
ロックされます。


自動ロックについて

給湯後、約10秒間給湯レバーを押さなかった場合、自動的にロックされます。
(ロック解除ランプが消灯。)

お湯が出にくいとき

- ◆沸とう直後は、発生した泡がポンプに入つてお湯が出にくくなることがあります。
蒸気に注意して、一度ふたを開け、再度ふたを閉めてから給湯する。
- ◆内容器やメッシュフィルター、本体内部のポンプが汚れていると、お湯が出にくくなることがあります。
クエン酸洗浄する。→P.23・24

お湯が少なくなったら必ず給水する

- ◆給水マークまで減る前に、必ず給水し、ふたを閉める。
(蒸気に注意して、水を入れる。)
→P.10・11
- ◆まほうびん保温中(プラグ接続状態)は、給水しても湯わかしません。→P.13

ご注意

- ◆湯量が給水マークより少ないときは、給湯しない。お湯が飛び散るおそれ。
- ◆ロック解除中は、給湯レバーを押すとお湯が出ますので充分ご注意ください。
やけどのおそれ。
- ◆本体を回転・移動させる際は、ロック解除ランプが消灯していることを確認してから行ってください。

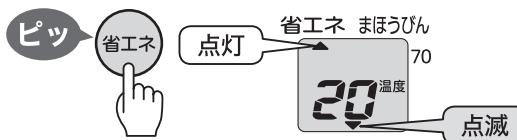
省エネコースにセットして、省エネ保温する

省エネ湯わかしと、使わないときに設定温度より約5度下げる省エネ保温で、電気代が節約できるのね。



1

省エネを押して、
省エネコースを選ぶ。



2

保温選択またはまほうびんを押して、
保温を選ぶ。

【98・90・80・70保温のとき】

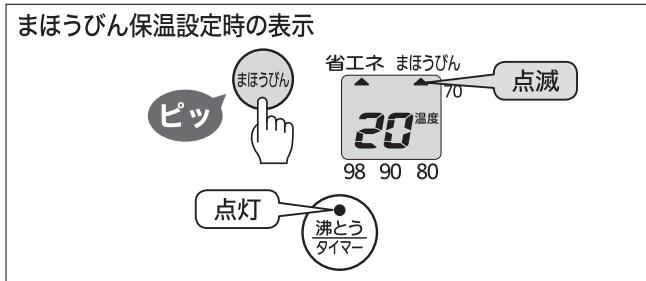
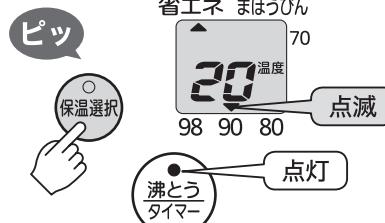
【保温選択】を押すごとに、保温が順に切り替わります。

→90→80→70→98

【まほうびん保温のとき】

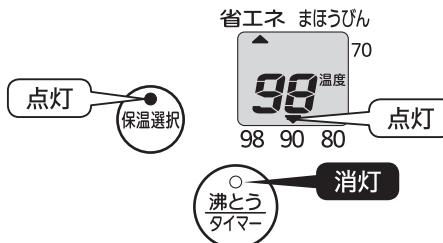
【まほうびん】を押す。

もう一度押すと、保温選択温度に替わります。(まほうびん保温は、湯わかし後、ヒーターが自動的にOFFになります。)



湯わかしが終了したら、
「ピー」と5回鳴る。

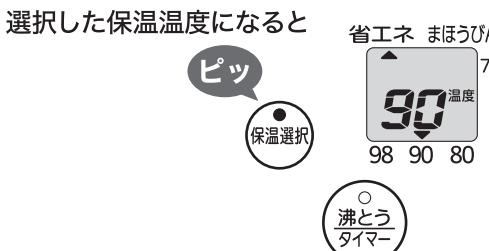
使いはじめに省エネコースを選択した場合、湯わかし終了時の温度表示が「95」になる場合があります。



自動的に保温。

【保温中に保温を切り替えるとき】

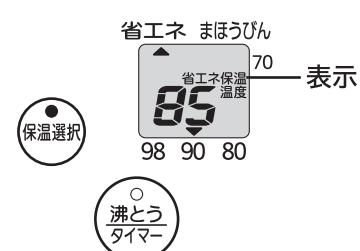
【保温選択】または【まほうびん】を押して選ぶ。



2時間以上使わないときは自動的に省エネ保温。
(設定温度より約5度下げて保温)

【まほうびん保温のとき】

ヒーターがONにならないので、
お湯が冷めていくだけです。



省エネコースのしくみ

- ◆省エネコースを選ぶと、省エネ湯わかしと省エネ保温を行います。
- ◆省エネ湯わかしは、沸とうする前にヒーターを切り、保温します。湯わかし終了時の湯温は約98度です。
- ◆省エネ保温は、2時間以上キー操作しなかったときに、設定温度より約5度下げて保温します。(98保温のときの省エネ保温は、95保温になります。)

省エネ保温中にキー操作をすると発生する音

「ゴー」という音は、湯温を設定温度に戻すために、自動的に湯わかしをする音です。→P.25

省エネコースを解除するときは

【省エネ】を押す。(湯温が低いときは、自動的に湯わかしをはじめます。)

省エネ保温中の湯温をもとの設定温度に戻すときは

【保温選択】または【ロック解除】を一度押す。(約1分で、もとの設定温度に戻ります。)

寝る前や外出前に 節電タイマーをセットする

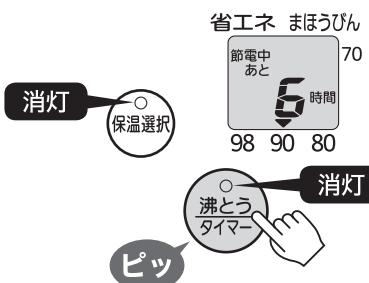
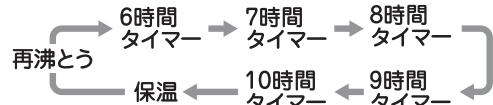


節電タイマーをセットすると、ポットが自動的にヒーターをOFF！電気代が節約できてうれしいわ。

○
沸とう
タイマー
を押して、
節電時間を表示させる。

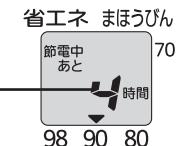
押すごとに節電時間・設定が切り替わります。
表示部で確認しながら節電タイマーをセットする。

節電時間・設定が切り替わる順番



終了までの時間を
1時間きざみで表示。

1時間きざみで表示



終了の1時間前になると、
59分から1分まで分きざみで表示。

1時間前になると
湯わかしがはじまり
1分きざみで表示



湯わかしが終了すると、
自動的に保温。

設定されている保温温度で、保温します。
(ピーピー…という音は鳴りません。)



節電タイマーのしくみ

- ◆6時間から10時間まで1時間きざみで5段階に設定できます。
- ◆セットすると、ヒーターが自動的にOFFになります。まほうびんで保温します。

湯わかし中でも保温中でもセットできる

湯わかし中・保温中のどちらでもセットできて便利です。

まほうびん保温設定時はセットしない

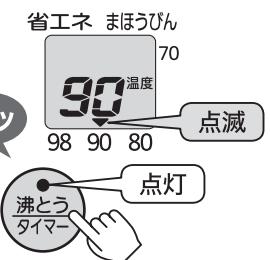
ヒーターがONにならないので、お湯が冷めていくだけです。

セットすると使えない操作・機能

電動給湯

節電タイマーを解除してお湯をわかすときは

〔沸とう/タイマー〕を押して、沸とうランプを点灯させる。(湯わかしをはじめます。)

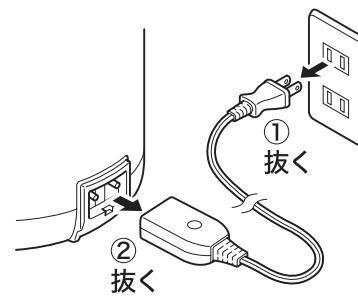


使わないときは お湯をすてる



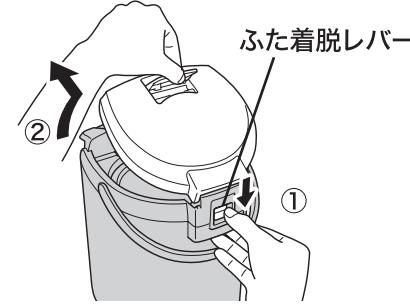
いつもおいしいお湯がわかせるように、使わないときは、
プラグとふたをはずして、残り湯をするといいのね。

1 プラグをはずす。



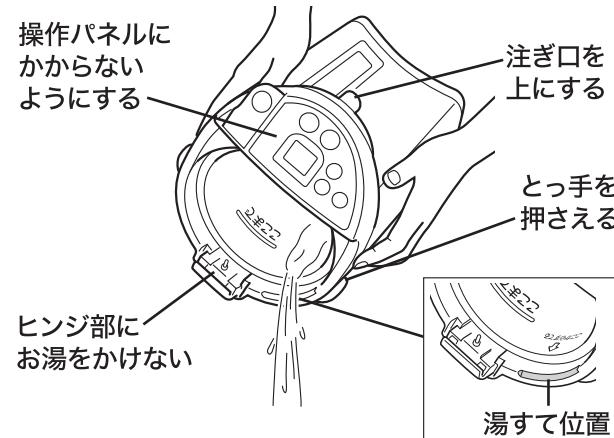
2 ふたをはずす。

ふた着脱レバーを押し下げながら、ふたを注ぎ口側に引くように開けてはずす。



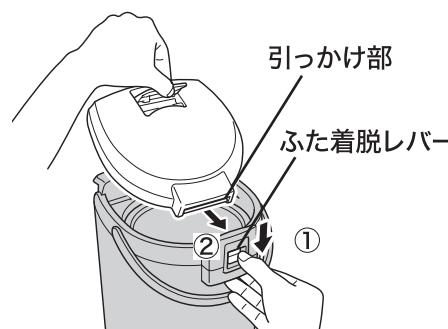
3 残り湯をする。

お湯が飛び散らないように、できるだけお湯をする場所にポットを近づけて、ゆっくりと/orする。



4 ふたをつける。

ふた着脱レバーを押し下げながら、ふたの引っかけ部を差し込む。



内容器にお湯を残さない

内容器が変色したり、においの原因になるので、残り湯はする。

必ず湯すて位置からする

別の位置からすると、故障の原因。

使用後はお手入れする

内容器・メッシュフィルターは、こまめにお手入れする。

→P.22・23

ご注意

- ◆ふたをはずすときは、蒸気にあたらないよう注意する。
- ◆ふたをつけたまま、残り湯をすてない。
- ◆メッシュフィルターの取りつけが不充分な場合、お湯をすてたときに抜け落ちることがあるので注意する。
- ◆お湯をすてた後は、注ぎ口からしづくが落ちることがあるので注意する。

お手入れする

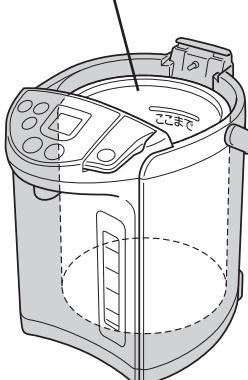
こまめにお手入れして、清潔・長持ち！

◆プラグをはずし、冷えてからお手入れする。

◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。

こまめにお手入れする箇所・部品

内容器



1 メッシュフィルターをはずす。→下記

2 内容器に水またはぬるま湯を半分くらい入れ、スポンジでふき取った後、すぐ。(外側はぬらさない。)

メッシュフィルター



1 水またはぬるま湯で、やわらかい歯ブラシなどを使って洗う。(目つまりすると、お湯が出てくくなります。)

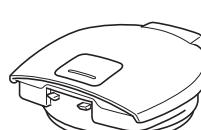
2 内容器に必ず取りつける。

ご注意

- ◆洗剤・シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- ◆食器洗浄機や食器乾燥器などは使わない。
- ◆カラダきによる内容器の変色は取れません。

汚れるたびに お手入れする箇所

ふた

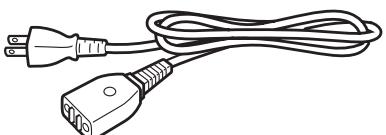


本体外側



よくしぼったフキンでふき取る。

電源コード



乾いた布でふく。

ミネラル成分について

水の中に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)が、内容器に付着して下記のようになることがあります。有害ではありません。汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄する。

→下記

- ・内容器に、サビのような赤いはん点ができる。
- ・内容器が乳白色・黒色・虹色などに変色した。
- ・お湯に白い浮遊物が浮く。

ご注意

◆内容器・メッシュフィルターは、こまめにお手入れし、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄する。→P.22・23

ミネラル成分がたまると、お湯が出にくくなったり、湯わかし中の音が大きくなる原因。

◆ミネラルウォーターや、アルカリイオン水(ミネラル成分を多く含む水)を湯わかししたときは、よりこまめにお手入れする。付着したミネラル成分がはがれて本体内のお湯の出口や蒸気取入口をふさぎ、故障の原因。

ミネラル成分が付着してきたら 内容器のクエン酸洗浄をする (2~3カ月に1回の目安)

1 メッシュフィルターが内容器についているか確認する。→P.8

2 クエン酸 約30g(大さじ2~3杯)を内容器に入れる。

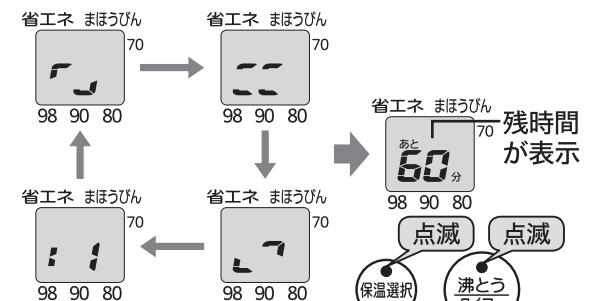
3 満水目盛まで水を入れてまぜ、ふたを閉める。
(お湯は入れない。)→P.10・11

4 プラグを接続し、[沸とう/タイマー]と[保温選択]を同時に約3秒間押し続ける。

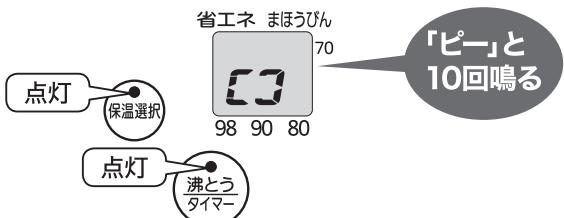
※洗浄中は、電動給湯以外の操作や機能は使えません。



洗浄中<洗浄時間の目安:約1時間30分*
*水温により異なる。



洗浄終了



5 電動給湯してお湯(クエン酸の液)を全部注ぎ口から出し、する。(電動給湯すると「ピピピ…」と音がします。)

6 汚れが残っているときは、スポンジでこすり落とす。(落ちにくいときは、再度クエン酸と水を入れて同じ操作をする。)

7 クエン酸の残り水を取るために、水だけで通常どおりにわかし、約半量を電動給湯してから残りのお湯をする。

→P.10・11・14・15・20・21

ご注意

◆洗浄中はふたを開けない。

◆クエン酸洗浄を途中で解除するときは、プラグをはずす。通常どおりお湯をわかすときは、必ずお湯(クエン酸の液)をすべてから使う。

お手入れする

こまめにお手入れして、清潔・長持ち！

お湯が出ないときは、 ポンプのクエン酸洗浄をする (半年に1回の目安)

1 メッシュフィルターをはずす。

→P.22

2 クエン酸約30g（大さじ2～3杯）を、コップ1杯のお湯（約200mL）で溶かし、内容器の底の穴に入れてふたを閉め、そのまま約2時間放置する。

3 内容器の1/3まで水を入れ、ふたを閉めてお湯をわかす。（90保温を選ぶ）→P.10・11

4 90保温の状態で、2～3時間放置する。

5 電動給湯してお湯（クエン酸の液）を全部注ぎ口から出し、する。

6 プラグをはずし、冷めてから、内容器をスポンジで水洗いする。

7 クエン酸の残り水を取るために、水だけで通常どおりにわかし、約半量を電動給湯してからお湯をする。

→P.10・11・14・15・20・21

8 冷めてから、メッシュフィルターを取りつける。

→P.22

クエン酸のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または、「連絡先→P.31」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入サイトでお買い求めください。

品名	電気ポット内容器洗浄用クエン酸（約30g×4包入り）
品番	PKS-0120
部品コード	PKS1007

※クエン酸は、食品添加物として使用されており、食品衛生上無害です。

長期間使わないとき

- 1 P.22の要領で各部のお手入れをし、乾いた布でふく。
- 2 各部を自然乾燥させる。（特に内容器は充分に乾燥させる。）
- 3 虫やほこりなどが入らないように、ポリ袋などで密封して保管する。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなとき

お湯がわかない。
(すべてのランプがつかない。表示がすべて消えた。)

水を入れても、湯わかしがはじまらない。
(沸とうランプに切り替わらない。)

給湯していないのに、
お湯が勝手に出る。

「ゴー」という音が
する。

「ゴー」という音が
いつもより大きい。

沸とうしない。

蒸気が出ない。

ご確認いただくこと

電源コードがはずれていませんか。

約50度以上のお湯を入れていませんか。約50度以上のお湯を入れると、自動的に湯わかしされない場合があります。

「まほうびん保温」を選んでいませんか。まほうびん保温中は、水を入れても自動的に湯わかしをしません。

水を「満水目盛」を超えて入れていませんか。

通気孔をふさいでいませんか。

「ゴー」という音は、湯わかし中に発生する泡がはじける音です。

省エネコースを選んでいませんか。省エネ保温中にキー操作をすると、設定温度に戻すために自動的に湯わかしをします。そのときに発生する泡の音です。

内容器が汚れていると、特に音が大きくなります。

省エネコースを選んでいませんか。省エネ湯わかしをしているため、約98度で湯わかしを終了します。

蒸気キャッチャー構造により、蒸気が本体の外に出ません。

直しかた

プラグを接続する。

少し冷めたお湯か水を入れる。
または、(沸とう/タイマー)を押して沸とうさせる。

(沸とう/タイマー)を押して沸とうさせる。

「満水目盛」以内にする。

異物がつまっている場合は取り除く。

クエン酸洗浄をする。

省エネコースを解除して、(沸とう/タイマー)を押して沸とうさせる。

蒸気キャッチャー構造により、蒸気が本体の外に出ません。

参照
ページ

10・11

10・11・
12・13

12・13

10・11

6

17

23

12・
13・17

2・11

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ	こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
においがするとき	<ul style="list-style-type: none"> お湯がにおう。 省エネコースを選んでいませんか。蒸気カットする省エネ湯わかしをしているため、約98度で湯わかしを終了します。 使いはじめのうちは、樹脂などにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。 樹脂製のお盆、ビニールシートなどの敷物の上で使っていませんか。お湯に敷物のにおいが移ることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 水道水に含まれる消毒用塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。 省エネコースを解除して、[沸とう/タイマー]を押して沸とうさせる。 	<p>[沸とう/タイマー]を押して沸とうさせた後、蒸気に注意して、一度ふたを開け、再度ふたを閉める。</p>	<p>12・13</p>	<ul style="list-style-type: none"> 内容器が汚れている。(お湯に白い浮遊物が浮く。) プラスチック部分に線状や波状の箇所がある。 本体外側が熱い。 音が鳴らない。 [沸とう/タイマー]を押すと、「ピピピ」と音が鳴って再沸とうしない。 表示部がくもる。 	<ul style="list-style-type: none"> 水に含まれるミネラル成分の作用によるもので、内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。 樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。 室温の高い部屋で保温を続けると、本体外側が熱くなることがあります。 節電タイマーのセット後は、湯わかし終了の音は鳴りません。 沸とう直後に、[沸とう/タイマー]を押していませんか。 水のかかりやすい場所や、底部がぬれるようなところに置きましたか。 本体をさかさまにして置きましたか。 給水するときに、操作パネルに水をかけませんでしたか。 	<p>クエン酸洗浄をする。</p> <p>23</p>
給湯するとき	<ul style="list-style-type: none"> お湯がぬるい。 「まほうびん保温」を選んでいませんか。まほうびん保温中は、時間の経過とともに湯温が下がっていきます。 湯量が少ない状態で、「まほうびん保温」をすると、冷めやすくなります。 1杯目のお湯は、水量表示計の水量管の中にたまっているお湯が給湯されるため、ぬるくなることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネコースを選んでいませんか。省エネ保温中は設定温度より約5度下げて保温します。 他の保温を選ぶ。または、[沸とう/タイマー]を押して沸とうさせる。 	<p>[保温選択]または[ロック解除]を押すと、約1分でもとの設定温度に戻ります。</p>	<p>17</p>	<ul style="list-style-type: none"> 12・13 	<ul style="list-style-type: none"> 13 	<p>18・19</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 電動給湯時に、お湯が出ない、出にくい。 本体を傾けた状態で給湯していませんか。 プラグがはずれていませんか。 ロックされていませんか。(ロック解除ランプが消灯) 内容器やメッシュフィルター、内部のポンプが汚れているとお湯が出なくなることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 沸とう直後ではありませんか。 蒸気に注意して、一度ふたを開け、再度ふたを閉めてから給湯する。 本体をまっすぐにして、給湯する。 プラグを接続する。 [ロック解除]を押してから、給湯レバーを押す。 クエン酸洗浄をする。 	<p>15</p>	<p>10・11</p>	<p>14・15</p>	<p>23・24</p>	<p>12・13</p>
本体の不具合				ランプや表示、キー操作、音の不具合			

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
カラだき防止機能がはたらき、「ピピピ…」と音がして、沸とうランプと保温ランプが交互に点滅し、下図のように表示される。 	カラ、または、少ない水量で湯わかしをしていませんか。	プラグを抜き、水を給水マーク以上まで入れてふたを閉め、しばらくしてからプラグを接続する。 お湯を使いきったまま長時間放置したり、ふたを開けたまま放置していませんか。	10・11
水をつぎたしたときに、勢いよく入れませんでしたか。		プラグを抜き、しばらくしてからプラグを接続する。	10・11
「ピピピ…」と音がして、沸とうランプと保温ランプが交互に点滅し、下図(C1、C2)のように表示される。 	給水やお手入れをするときに、本体内部に水が入って故障している場合があります。 お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。		

ランプや表示、キー操作、音の不具合

仕様

サイズ	2.2タイプ	3.0タイプ
定格容量	2.2L	3.0L
電源	交流100V 50-60Hz	700W 270kWh/年 0.74kWh/日
湯わかし時の消費電力	700W	700W
年間消費電力量*1	232kWh/年	270kWh/年
1日当りの消費電力量*1	0.64kWh/日	0.74kWh/日
外形寸法*2 (とっ手を倒した状態)	幅 奥 行 高 さ	21.7cm 28.2cm 31.8cm
質量*2(電源コードを含む)	2.6kg	2.9kg
温度過昇防止装置	温度ヒューズ	
コードの長さ*2	1.0m	
電動ポンプの消費電力*2	1.5W	

*1 日本電機工業会自主基準による測定(室温23度、湯わかし2回/1日、再沸とう1回/1日、保温90度で23時間/1日、365日/年間、その他水量等の試験条件：日本電機工業会自主基準HD-112に基づく)

*2 おおよその数値です。

※特定地域(高地・厳寒地など)においては、所定の性能が確保できないことがあります。

消耗品・別売品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入サイトでお買い求めください。

◆ふたパッキン(消耗品)

1年を目安に確認し、下記のようになってきたら交換する。
(倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。)

- ・白く変色した。
- ・汚れや破損がひどくなった。
- ・ふたのすきまから蒸気がもれ出した。

部品番号	PDA1090

◆メッシュフィルター(消耗品)

内容器のクエン酸洗浄時に取りつけて洗浄しても、汚れが取れないときは交換する。

メッシュフィルターのはずしかた・つけかた→P.22

部品番号	PVH1184

◆樹脂部品(傷んできたとき)

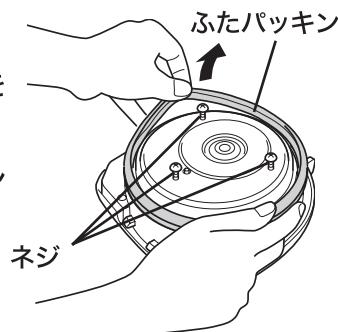
熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があるので、交換する。(有償修理)

ふたパッキンの交換のしかた

はずしかた

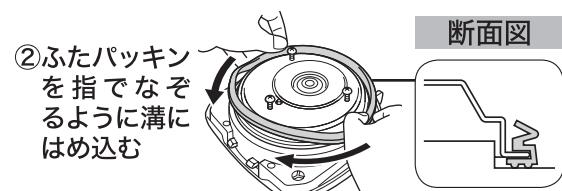
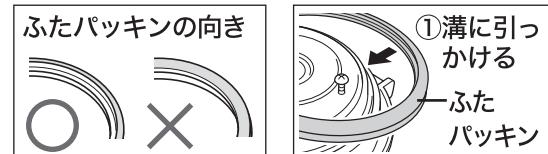
1 ネジ(3本)をゆるめる。

2 ふたパッキンをはずす。



つけかた

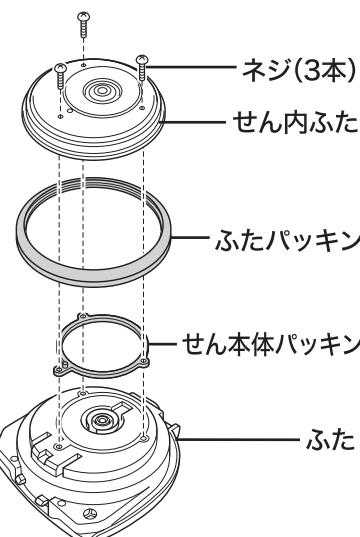
1 新しいふたパッキンを、せん内ふた外周にきっちりとはめ込む。



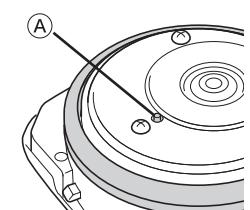
2 ネジ(3本)を確実に締めつける。

ご注意

◆せん内ふたなどの部品を、ふたからはずさない。蒸気もれやお湯が出ない原因。
はずれてしまったときは、下図のように正しく取りつける。



◆内部のパッキン類、成形品の傷み具合は、せん内ふたをはずさなくとも確認できます。
図のⒶの突起部が外観から見て傷んできたときが、交換の目安です。



ふた内部の部品交換は修理技術者以外はできませんので、お買い上げの販売店または、「連絡先→P.31」に記載のタイガーお客様ご相談窓口にお問い合わせの上、ご相談ください。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな?と思ったら→P.25~28」をご覧になり、お調べください。
それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。(消耗品は除きます。)

保証書の記載内容に基づき修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼されるとき

保証期間内 … おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎているとき … まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名 ②品番 ③製品の状況(できるだけくわしく)

4 電気ポットの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 … 不具合の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業(修理および部品交換・調整・修理後の点検など)の料金です。

部品代 … 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口(→下記)までご連絡ください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。

連絡先 タイガー魔法瓶株式会社

本社
〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・修理のご相談 お客様ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

有料でご案内させていただいております。

※ナビダイヤルご利用いただけない場合はこちらへ

TEL(06)6906-2121

●受付時間 AM9:00~PM5:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除きます)

消耗品・別売品のご購入サイト

<http://www.tiger-shop.jp/>



修理に関するご案内・受付サイト

<https://www.tiger.jp/customer/repair.html>



ホームページアドレス <https://www.tiger.jp/>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することができますのでご了承ください。